

人文科学研究所

Institute of Humanities, Human and Social Sciences



過去、現在、未来の〈地平〉を融合し、新たな社会を批判的に創造する人文・社会科学の拠点



歴史、哲学・文化、地域・グローバルの研究領域に注力
未来を見据え、新たな可能性を秘めた「人間の学」を追求する

人文科学研究所は、1948年の発足以来、学内外の研究者を組織し、人文・社会諸科学の学際的共同研究を推し進め、その成果を社会に還元する取り組みを積み重ねてきました。今日の世界は、貧富の格差の増大、民族・地域紛争、飢餓、差別の広がりなど人間の尊厳や生存条件を大きく阻害する深刻な危機に見舞われています。

そのような状況のなか、本研究所は未来を見据えた研究に取り組んでいきたいと考えています。そのために、学内外の研究者の豊富な研究蓄積と旺盛な問題関心に積極的に目を向け、未来を担う若い世代の研究者の斬新な視座やイマジネーションを最大に生かしながら、あらたな可能性を秘めた「人間の学」を追求していきます。



現代では経済的格差の拡大、内戦・民族紛争の深刻化など、人間の尊厳や生存の条件を脅かす事態が奥深く進行しています。そのため、これに対抗しうる「知」が今ますます求められています。

立命館大学人文科学研究所は、「Cultura animi philosophia est」というキケロの言葉を「統制的理念」(カント)すなわち「高々と掲げるべき旗」としながら、人文・社会諸科学における知の刷新と変革を牽引する拠点でありたいと願っています。

本研究所は、立命館大学はもちろん、日本、アジア、世界における人文・社会諸科学の刷新(イノベーション)と変革を牽引するフラッグシップの役割を担い、その研究成果を世界へ向けて発信するプラットフォームとなることを目指します。

その際には、若い世代の研究者の参加を積極的に促しながら、学内外においてネットワークの「多様体」を形成し、研究成果を蓄積していきたいと願っています。

■ 研究所としての活動

本研究所では、「歴史研究」「哲学・文化研究」「地域・グローバル研究」の3つの研究領域を重視し、研究活動を行っています。それぞれの研究領域による活動は、研究会やワークショップによるものや、刊行物(『立命館大学人文科学研究所紀要』『立命館大学人文科学研究所研究叢書』等)によって、その成果発信を行っています。また、「人文科学研究所助成プログラム」では、新たな研究分野を開く萌芽的な研究に関して支援を行っています。

シンポジウムのテーマ例	シンポジウムの開催実績
●〈観光の人文学的研究〉の新たな展開をめざして ——新時代の観光社会学、観光人類学、観光地理学を探る—— ●アルゴリズムックな近代を問う ●官民パートナーシップを含むグローバルな科学技術ガバナンスに関する共同研究に向けて ●「われわれ」と「不気味な他者」 ——ハイデガー／デリダをめぐる—— ●モビリティーズ研究を前進させる ●能登半島地震から原発と地方自治と戦後日本を考えるシンポジウム ●ワークショップ イアン・ボーデン著『全スケートボード史』を読む	

■ 助成プロジェクトの紹介

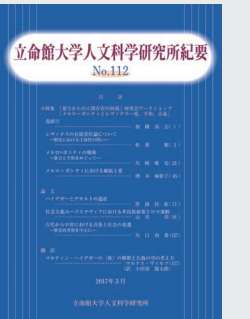
- 蓬左文庫所蔵『銅人臑穴鍼灸図経』拓本の総合的研究
- 国際刑事司法における変革的正義
- 越境政治の国際比較：出国者を包摂する近現代の送出国と社会
- アーバンスポーツをめぐる文化政治、ツーリズム、メディア、身体動作についての総合的研究
- 中世文化の継承と変容：人と人ならざるものとの関連を中心に
- 法多元主義による人権法理論の再構築
- 先端科学技術のガバナンスのための理念と制度の研究

紀要特集・小特集テーマ例

- モビリティーズ研究：観光研究の現在と今後
- 日本近代の自己完結性のやぶれ
- 第3回東アジア間文化現象学会議
- 脱構築の複数性
- ホワイトヘッド哲学の可能性：有村直輝著『生成の美と論理 ホワイトヘッドの形而上学』をめぐる
- 「環境親和的な経済社会システム」研究会の成果報告
- 「市民社会の変遷に関する現代史的考察」研究会の成果報告
- 人文・社会科学の意義を見つめ直す：感染症、戦争、災害等の「グローバルなリスク」に立ち向かう〈知〉のために
- 日本の中世社会と近現代への文化的継承
- 近代日本の植民地支配と「戦争体験」の受粉



研究所長：亀井 大輔(文学部 教授)
主な研究拠点：衣笠キャンパス
お問い合わせ：立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス 人文科学研究所事務局
TEL: 075-465-8225 FAX: 075-465-8245 ㊚: jinbun@st.ritsumeik.ac.jp <http://www.ritsumeik.ac.jp/research/ihhss/>



立命館大学
人文科学研究所紀要を刊行